

10: 悪性リンパ腫(ML)【成人】

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 鈴木 律朗	島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
吾郷 浩厚	島根県立中央病院	血液腫瘍科
伊豆津 宏二	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
小川 啓恭	兵庫医科大学病院	血液内科
尾関 和貴	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
賀古 真一	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
加藤 光次	九州大学病院	血液腫瘍内科
加藤 春美	愛知県がんセンター中央病院	血液・細胞療法部
金 成元	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
近藤 英生	岡山大学病院	総合内科
酒井 リカ	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	腫瘍内科
鈴木 淳司	島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
田地 浩史	愛知県がんセンター中央病院	血液・細胞療法部
田野崎 隆二	国立がん研究センター 中央病院	輸血療法科
名和 由一郎	愛媛県立中央病院	血液内科
水田 秀一	藤田保健衛生大学病院	造血細胞移植チーム
森島 聡子	藤田保健衛生大学病院	造血細胞移植チーム
森 毅彦	慶應義塾大学医学部	血液内科
矢野 真吾	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
横山 寿行	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター	血液内科
石田 文宏	信州大学医学部	保健学科 病因・病態検査学
朝倉 義崇	日本赤十字社 沖縄赤十字病院	血液内科
池田 宇次	静岡県立静岡がんセンター	血液・幹細胞移植科
坂本 佳奈	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
鈴木 達也	国立がん研究センター 中央病院	血液腫瘍科
多田 耕平	国立がん研究センター 中央病院	血液腫瘍科・造血幹細胞移植科
千原 大	MD Anderson Cancer Center	Department of Lymphoma and Myeloma
青木 一成	京都大学大学院医学研究科	血液・腫瘍内科学
今田 和典	大阪赤十字病院	血液内科
高橋 勉	島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
三橋 健次郎	東京女子医科大学病院	血液内科
吉田 功	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	血液腫瘍内科
青木 智広	名古屋大学大学院医学系研究科 分子総合医学専攻 病態内科学講座	血液・腫瘍内科学
神山 祐太郎	東京慈恵会医科大学附属病院	造血細胞治療センター

白鳥 聡一	市立函館病院	血液内科
山崎 聡	独立行政法人国立病院機構 九州医療センター	血液内科
飯田 浩充	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター	細胞療法科
近藤 忠一	京都大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
岡田 隆宏	島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
河田 岳人	京都大学大学院医学研究科	血液腫瘍内科

2. 承認研究の進捗状況(2015年1月-12月 ※JSHCT2016を含む)

10-1	「濾胞性リンパ腫の造血幹細胞移植の後方視的研究」 PI:伊豆津宏二	
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)		
論文業績:		
10-2	「悪性リンパ腫自家移植後再発に対する同種移植」 PI:吾郷浩厚	
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)		
論文業績:		
10-3	「節外性 NK/T 細胞リンパ腫、鼻型(ENKL)の移植成績」 PI:鈴木律朗	
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)		
論文業績:		
10-4	「リンパ腫の組織型別・病期別移植成績」 PI:伊豆津宏二	
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)		
論文業績:		
10-5	「ホジキンリンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的検討」 PI:賀古真一	
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)		論文業績: 済(WG 研究業績一覧参照)
10-6	「移植前B型肝炎、C型肝炎ウイルスの感染状態が悪性リンパ腫の移植成績および有害事象に及ぼす影響」 PI:加藤春美	
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)		
論文業績:		
10-7	「高齢者びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の造血幹細胞移植の後方視的研究」 PI:千原大	
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)		論文業績: 済(WG 研究業績一覧参照)
10-8	「縦隔(胸腺)大細胞型 B 細胞性リンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的研究」 PI:近藤英生	
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)		
論文業績:		
10-9	「中枢神経原発リンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的研究」 PI:近藤英生	
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)		
論文業績:		
10-10	「自家末梢血幹細胞移植前処置が悪性リンパ腫の移植後予後に及ぼす影響に関する研究」 PI:水田秀一	
学会発表:		
論文業績:		
10-11	「血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫における造血幹細胞移植の意義についての検討」 PI:加藤光次	
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)		
Kato K, Mori T, Kim S, Sawa M, Sakai T, Hashimoto H, Taguchi J, Tanaka J, Nagamura T, Morishima Y, Suzuki R, Suzumiya J: High-dose chemotherapy followed by autologous stem cell transplantation for intravascular large B-cell lymphoma. The 13th International Congress on Malignant Lymphoma (Publication only, Abstract #386) June 17, 2015,		

Lugano, Switzerland	
論文業績:	
10-12	「Blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm に対する造血幹細胞移植の後方視的検討」 PI: 青木智広
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)	
論文業績: Aoki T, Suzuki R, Kuwatsuka Y, Kako S, Fujimoto K, Taguchi J, Kondo T, Ohata K, Ito T, Kamoda Y, Fukuda T, Ichinohe T, Takeuchi K, Izutsu K, Suzumiya J: Long-term survival following autologous and allogeneic stem cell transplantation for blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm. Blood 125 (23): 3559-3562, 2015	
10-13	「成熟 T 細胞腫瘍に対する同種造血幹細胞移植における前処置強度と予後の関連」 PI: 青木一成
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)	
論文業績:	
10-14	「皮膚原発T細胞リンパ腫の造血幹細胞移植の後方視的研究」 PI: 森毅彦
学会発表:	
論文業績:	
10-15	「MYC/8q24 異常を伴うびまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的研究」 PI: 高橋勉
学会発表:	
論文業績:	
10-16	「自家及び同種移植を施行した悪性リンパ腫における治療関連急性骨髄性白血病/骨髄異形成症候群に関する検討」 PI: 山崎聡
学会発表:	
論文業績:	

3. 会議開催記録(2015年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2015/7/4	名古屋第一赤十字病院	参加者9名で会議を実施した。既に提案された研究の進捗状況、今後の対策、新規研究テーマの提案、TRUMP データの追加要望項目、表示様式の改善について討論した。

4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2015年12月末時点まで)

(1634)回

5. WG の今後の活動方針・抱負など

悪性リンパ腫には多くの病型があり、これに対して実施されている造血幹細胞移植も症例数は多いです。これを対象にさまざまな研究が提案されて実施されてきました。しかしながら、計画の立案に対して発表が遅れている研究があり、特に論文化されていないものが多いです。これらを適切に公表することに、今後は努めたいと思います。また、当然検討されないといけない病型に対する研究が立案されていないものもあり、これらを網羅できるように考えたいと思います。メンバー、分野とも広すぎるきらいもあるので、WG 内での小グループを作ることも、今後視野に入れていきたいと思っています。